

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kvodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

特別委員会で強行採決！ 議事録は「議場騒然、聴取不能」

国会前では「採決は無効」「廃案のみ」のコール！

17日夕方の特別委員会では、NHKアナウンサーも「どうやら可決されたようです・・・」とコメントするような、突然の怒号のなか何が何だかわからないうちに戦争法案が強行採決されてしまいました。特別委員会の会議録(未定稿)には鴻池委員長の発言について「発言するものおおく、議場騒然、聴取不能」としか記されていないことがわかりました。野党は採決に正当性はないと、議長不信任案決議案を提出するなど徹底抗戦のかまえです。

夜の国会前集会には、強い雨のなか3万人以上がつめかけ「強行採決もどきは無効」「廃案あるのみ」と力強くコールをあげました。今日も雨のなか朝9時から集会やコールを続けています。

—地方紙も批判—【福島民報】安保法案採決民意と懸け離れている【琉球新報】安保法案可決 道理なき違憲立法だ 今国会成立は許されない(社説)【中国新聞】安保法案可決 民意無視の横暴に憤る(社説)【愛媛新聞】参院委採決「強行」「成立ありき」やめて民意を聞け(社説)など、各紙が国民の声に背を向けた強行採決に批判的です。

河北新報は、達増拓也岩手県知事が17日、安全保障関連法案が参院特別委で強行可決されたことについて「審議が進むほどに専門家の疑念が強まり、国民の反対が増えてきたという経緯を振り返ると、決して採決すべき状況ではなく、今からでも白紙撤回すべきだ」との談話を出したことを伝えています。



引き続き全国各地で声をあげよう！

17日は、水戸、前橋、甲府、埼玉、宇都宮、兵庫、京都、広島、熊本、など全国各地で「戦争法案NO！」の集会や宣伝、デモが開催されました。京都では、10時間マラソンスピーチ(京都弁護士会主催)が行われ、あらゆる分野から130人がスピーチに参加。日弁連の村越会長からも連帯のメッセージが寄せられました。山梨憲法共同センターは甲府のJR甲府駅南口で朝と昼、情勢を伝えながら宣伝。結成されたばかりの「ママの会@山梨」の代表も訴えました。兵庫では、8カ所以上で宣伝やデモが行われ、三ノ宮花時計前パレード出発あいさつでは上脇博之教授が「100人の医師が“これはガンです”と診断しているのに、安倍医師だけが違うと声をあげているのが国会」と説明しました。本日も、大型連休も全国各地で行動が行われます。引き続き「強行採決許さない!」「戦争法案ゼッタイ廃案」の声をあげていきましょう！

9月18日(金)◆座り込み行動と国会正門前大集会 主催:総がかり行動実行委員会

9時~17時 国会正門前集会、終日座り込み

9時、11時、13時、15時、17時に、国会議員も参加する集会開催(30分~1時間程度)

18時30分~ 国会前集会(正門前)集会後21時まで SEALDs など他団体と調整しながら国会正門前で行動

21時~ 国会議員会館側に移動し集会

* 情勢を受けての行動提起は、本日夕方以降、総がかりや憲法共同センターのHP等で発信します